



2023年5月8日

各 位

会社名 株式会社ジーエヌアイグループ
代表者名 取締役代表執行役社長兼CEO イン・ルオ
(コード番号: 2160 東証グロース)
問合せ先 ビジネスマネジメント部 部長 中野 暁弘
インベスターリレーションズ担当
(TEL. 03-6214-3600)

(開示情報の経過) Catalyst Biosciences, Inc. のナスダック上場条件に関する開示のお知らせ

株式会社ジーエヌアイグループ（以下「当社」）の持分法適用会社であり、米国ナスダック市場に上場するCatalyst Biosciences, Inc.（以下「CBI0」）が、以下の文書を米国証券取引監視委員会（以下「SEC」）に提出しましたので、お知らせいたします。

https://www.sec.gov/ix?doc=/Archives/edgar/data/1124105/000114036123023200/brhc20052574_8k.htm

主要部分の参考訳を以下に添付いたします。原文と内容の相違がある場合は、原文の内容が優先します。

『既にお知らせした通り、2022年11月2日、デラウェア州の企業であるCBI0は、Nasdaq Stock Market, LLC（「ナスダック」）の上場審査部門より、ナスダックに上場しているCBI0普通株式の終値が30取引日連続で1ドル未満であったため、Nasdaq Marketplace Rule 5550(a)(2)（「最低入札価格要件」）に規定されたナスダック市場上場継続のための最低入札価格要件を満たしていないとの通知を受けました。CBI0は、最低入札価格要件への準拠を回復するために、180 暦日すなわち2023年5月1日までの猶予を与えられました。

2023年5月2日、CBI0はナスダックの上場資格審査担当者（「ナスダック担当者」）から、（CBI0が）最低入札価格要件を満たしておらず、2度目の180日間の猶予を受ける資格がないとの通知を受けました。以前に報告したように、2023年4月4日、ナスダック担当者は、上場規則5550(b)(1)（「資本要件」）に定めるナスダックの上場継続のための最低株主資本要件2,500,000ドルを（CBI0が）満たしていないとも通知しています。資本要件に関する不備は、上場廃止に関する追加のかつ（最低入札価格要件とは）別個の根拠となります。CBI0は、ナスダックのヒアリング部門に適時、ヒアリングの要請を行う予定です。ヒアリングを要請することにより、ヒアリング・パネルがヒアリング・プロセスを完了するまで、CBI0普通株式の上場停止は保留されます。CBI0は、2023年3月30日にSECに提出した予備的委任状説明書（以下「予備的委任状」）に記載した、（株主総会で承認されれば）CBI0が予定している本経営統合取引および株式併合の完了により、本経営統合取引後の統合会社は、該当するナスダックの新規上場要件を満たし、上場廃止を停止する根拠を提供できると考えています。但し、CBI0がヒアリングに成

功し、(ナスダックの) ヒアリング・パネルがCBI0のナスダック市場への上場廃止の停止または上場継続の要求を認めること、あるいは(取引後の) 統合会社がナスダックの新規上場要件を満たすことが保証されているわけではありません。』

なお、上記に「経営統合取引」とありますが、日本法では、2022年12月27日の当社開示においてご説明した、当社および当社子会社(以下「当社グループ」)が保有する北京コンチネント株をCBI0に現物出資し、当社グループがCBI0株式を取得する取引2に当たります。

現時点でCBI0の上記開示が当社の連結業績数値に与える影響はありませんが、以前のCBI0の開示内でも言及されている通り、取引2はCBI0がナスダックでの上場を維持することが条件となっておりますので、当社もCBI0の状況を注視しつつ、CBI0のナスダック上場維持のために全面的に協力して参ります。

以上

株式会社ジーエヌアイグループについて

株式会社ジーエヌアイグループは、東京証券取引所グロース市場に上場し、創薬、医薬品および生体材料の開発、臨床試験、製造、販売、医療機器の日本導入を支援するコンサルティング等を米国、中国、日本にて展開するグローバルヘルスケア企業です。詳細は以下の当社ホームページをご覧ください。

<https://www.gnipharma.com/>

Catalyst Biosciences, Inc. (CBI0) について

CBI0は、プロテアーゼ工学の専門知識を持つバイオ医薬品企業です。CBI0は2022年3月に研究開発活動を停止いたしましたが、それ以前は、補体または凝固系の障害におけるアンメット・メディカル・ニーズ(満たされていない医療ニーズ)に対処する可能性のあるいくつかのプロテアーゼ資産を保有していました。CBI0は、2022年に負債の支払いまたは留保を行った後、利用可能な現金を株主に分配することに重点を置いて来ました。詳細は以下のCatalyst Biosciencesのホームページをご覧ください。

<https://www.catalystbiosciences.com/>

本資料に記載されている当社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。将来の業績に関する見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいています。実際の業績は、さまざまなリスクや不確実な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を与える重要な要因には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向、世界情勢などが含まれます。

この文書は、当社の持分法適用会社であるCBI0のSEC登録文書に関して一般に公表することを主目的としたプレスリリースであり、日本国内外を問わず投資勧誘等を目的として作成されたものではありません。